

## お出かけ前のチェック表

各項目の□にチェックして再確認しましょう！

- 行き先、帰宅予定時間などを家族に教えましたか？
- 仲間と一緒にいきますか？
- 天気予報を確認しましたか？
- 自分や仲間の体調は大丈夫ですか？
- 目立つ服装、寒さに備えた服装ですか？
- 今一度、持ち物を確認しましたか？

(水・非常食・携帯電話・薬・雨具・方位磁石など)

## 道に迷ってしまったら・・・

- **落ち着いて警察（110番）に連絡しましょう。**
- **むやみに動かずに体力を温存しましょう。**
- **携帯電話のバッテリー消耗を考え、使用を控えましょう。**
- **捜索隊やヘリコプターが見えたら、木の枝を揺すったり、タオルを振り回すなど相手に合図を送りましょう。**



山菜採りで  
そうなん  
「遭難」  
しないために

後志地方山岳遭難防止対策協議会



後志管内では、毎年、雪解けにより山菜が多く採れる6月頃に遭難事故が多発しており、**道内一の山菜採り危険地域**です。特に蘭越町・島牧村での「タケノコ」採りによる遭難事故が多く、**死者・行方不明者も発生**しています。また、近年は札幌近郊からアクセスの良い地域や採りやすい地域でも遭難事故が発生しています。

## 後志管内遭難多発地域



搜索費用を  
負担いただく  
場合があります

STOP!



搜索には、警察官、消防職員、消防団員、役場職員のほか、自衛隊員の皆さんの多大な協力をいただいています。状況に応じて、道警ヘリや道防災ヘリによる上空からの搜索も行われます。搜索が長期化すると、**多額の経費**がかかります。そのため、**ご本人やご家族に経費の一部を負担していただくことがあります。**

## ヒグマに注意!



後志管内でも熊の目撃情報が寄せられています。出没情報看板がある場所には立ち入らない、姿を見かけたり、足跡などの痕跡を見つけたりした場合は引き返しましょう。ラジオ・笛など人の存在を知らせる工夫が必要です。

## 迷わないために



山菜採りに夢中になっていると背丈の高い笹藪に覆われ、迷って方向が分からなくなります。周囲の状況を確認しながら行動しましょう。一気に奥までは進まずに、少し進んでは出発地点や集合場所に戻るようにしましょう。

## 遭難者の多くは高齢者



遭難者の多くは60代～80代の高齢者です。山菜採りに夢中になり、疲労や持病の悪化から自力下山ができないため救助を要請する場合があります。体力に自信が無い場合は、無理をせず引き返す勇氣も必要です。